

第5回病診連携委員会要録

日時 平成21年9月28日（月） 午後7時30分

場所 浪速区医師会 会議室

出席者 浪速区医師会 : 7名
愛染橋病院 : 2名
大野記念病院 : 3名
四天王寺病院 : 2名
多根総合病院 : 3名
富永病院 : 2名
浪速生野病院 : 1名
愛染園ケアサービスセンター 1名
ケアプランサービスあんり 1名

議題

1. 第4回病診連携委員会報告について

前回の委員会での議事内容の報告と確認が行われた。

2. 病診連携委員会のアンケート結果について

アンケート結果は次のとおり。

① 質問「1」

ほぼ全ての委員がこのままの内容でよいとの回答であった。

② 質問「2」

A案：尾道方式のような医師会主導による体制 4件

B案：24時間対応の在宅医療チーム結成による体制 2件

C案：関係施設間でのケースごとの個別対応による体制 11件

D案：その他 0件

A案、B案については、医師会のスタッフや24時間対応できる診療所の数が少ないことなどから現実的には困難であり、当面はアンケート結果通りにC案の個別対応することが現実的と考えられる。

③ 質問「3」

ブルーカードを所持していても断らざるを得ない場合があることを、患者、救急隊には十分に理解していただきたいとの意見があり、全ての会員に周知徹底することが約束された。

3. ブルーカードの最終校正について

(1) 依頼病院の一つであった多根総合病院から、病診連携による専門分野での協力病院への移動希望があった。病床回転に苦慮している現実を鑑みると、長期入院が予想される患者を多数引き受けることが困難であるとの理由である。

協議の結果、多根総合病院を協力病院へ移動することとなった。依頼病院は3病院（愛染橋病院、浪速生野病院、大野記念病院）となった。

(2) ブルーカードの説明文等を以下のとおり 変更することとなった。

① 主治医向け案内文

ブルーカードについて
<p>▷ このカードは、在宅患者が夜間・休日などに突然病状が変化した場合に、安心して治療が受けられるように考案されたものです。</p> <p>▷ あらかじめ急変時の受け入れ病院が決められている場合には、このカードは必要ありません。</p> <p>▷ 急患対応中のため、ご連絡いただいても診察をお断りする場合があります。</p> <p style="text-align: center;">なお、このカードは浪速区医師会と複数の連携病院の協力により誕生したものです。</p>

※ 3項目目「その場合、積極的に連携病院を紹介させていただきます。」を削除することとなった。急患対応中は人手もなく、積極的には紹介できない場合が多いと思われるためである。

② 患者向け案内文（地図）

「転送可能病院」→「病状により受診していただく病院」

病院案内の地図の縮尺と文字のフォントのばらつきを統一する。

③ 封筒

◆ ブルーカードとは？									
<p>1. このカードは浪速区医師会と下記の病院との連携によって誕生したものです。</p> <p>2. 緊急時には、ブルーカードで決められた病院に、まず連絡をしてください。</p> <p>3. 受診の際は、このブルーカードを必ず携帯してください。</p> <p style="text-align: center;">一緒に、保険証、お薬手帳（薬剤情報）、現在内服中の薬剤も持参してください。</p> <p>4. 万一、下記の病院が満床および緊急対応中の場合、他病院へ紹介させていただくか救急車対応になる場合があります。</p>									
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">愛 染 橋 病 院 06-6633-2801</td> <td style="text-align: center;">大 野 記 念 病 院 06-6531-1819</td> <td style="text-align: center;">浪 速 生 野 病 院 06-6561-1021</td> </tr> </table>	愛 染 橋 病 院 06-6633-2801	大 野 記 念 病 院 06-6531-1819	浪 速 生 野 病 院 06-6561-1021	<p>紹介先病院名に○をしてください。</p>	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">上 記 病 院 か ら 連 携 可 能 病 院</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">四 天 王 寺 病 院 06-6779-1401</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">富 永 病 院 06-6568-1601</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">多 根 総 合 病 院 06-6581-1071</td> </tr> </table>	上 記 病 院 か ら 連 携 可 能 病 院	四 天 王 寺 病 院 06-6779-1401	富 永 病 院 06-6568-1601	多 根 総 合 病 院 06-6581-1071
愛 染 橋 病 院 06-6633-2801	大 野 記 念 病 院 06-6531-1819	浪 速 生 野 病 院 06-6561-1021							
上 記 病 院 か ら 連 携 可 能 病 院									
四 天 王 寺 病 院 06-6779-1401									
富 永 病 院 06-6568-1601									
多 根 総 合 病 院 06-6581-1071									
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">外 科 ・ 内 科</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">脳 外 科 疾 患 循 環 器 疾 患</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">救 命 ・ 循 環 器 脳 外 科 ・ 消 化 器 科</td> </tr> </table>			外 科 ・ 内 科	脳 外 科 疾 患 循 環 器 疾 患	救 命 ・ 循 環 器 脳 外 科 ・ 消 化 器 科				
外 科 ・ 内 科									
脳 外 科 疾 患 循 環 器 疾 患									
救 命 ・ 循 環 器 脳 外 科 ・ 消 化 器 科									

④ 大野記念病院より病病連携を速やかに行うために、各病院の当直医の専門科目

や空床状況などが分かるシステムを作ってはどうかとの提案があった。

協議の結果、その情報は診療所にとっても有益であるため、各病院からの報告を医師会で取りまとめて、ファックスやホームページを使って一斉に情報発信していく方向で継続して協議することとなった。

- ⑤ 浪速生野病院より、患者が入院となった場合のブルーカードの取り扱いについての質問があった。

協議の結果、取り扱いについては、次のとおりとすることとなった。

退院時点では内容の見直しも必要であるため、新たにブルーカードを作成することとし、受け入れた病院は、持参のブルーカードを自由に使用してよいこととする。

- ⑥ ブルーカードに利用している居宅介護施設やケアマネージャーの連絡先を追加すると入退院時の連携が取りやすいのではないかとの意見があった。

協議の結果、まずは居宅介護施設間で相談し、ブルーカードへの連絡先の記載や、封筒内に名刺を同封するなどの希望方法を報告してもらい今後検討することとなった。

4. 救急との連携について

救急に対しては、富永病院から浪速区内の消防署へブルーカードの使用に関する説明をしてもらうことになった。

5. 「在宅医療についてのアンケート」の結果について

アンケート結果をまとめて、在宅診療をしている診療所の一覧表を作成した。

6. その他

(1) 居宅介護施設から意見等があった。内容は次のとおり。

Q① ヘルパーは、薬剤の管理ができないので、訪問看護師による薬剤の管理を徹底してほしい。たとえば簡単な軟膏の塗布は医師の指示でヘルパーが施行できないものか。

↓

A① 法的な問題があるために、指示は困難である。

Q② 主治医意見書が介護認定に大きく異なることもあるので現状に近いものを書

くことはできないのか。

↓

A② 現実に1年に1度しか受診されない方もいるので、最近の状況を記載できない場合もある。ケアマネージャーが同行するか、情報提供してもらえれば現状に近い内容にできる。

Q③ 退院時にはADLの変化や今後の見通しなどを介護側にも教えて欲しい。

↓

A③ 関係施設での退院前カンファレンスを行う方向になっているので今後はそこに参加してもらえればよい。

(2) ブルーカードの開始時期について

当初は10月1日の予定であったが、今回の校正と、医師会内で説明会を開く必要があるため、しばらく延期となった。次回の委員会で完成したブルーカードを最終確認し、開始することとした。

次回会議予定 平成21年10月26日(月)午後7時30分～